

蔵王権現、怒りと慈悲の眼差し

国宝仁王門大修理勸進

日本最大秘仏特別ご開帳

秘仏金剛蔵王大権現3体（重要文化財）
吉野山 金峯山寺 蔵王堂

令和4年11月1日(火)～11月30日(水)

拝観時間／午前8時30分～午後4時

※諸行事・法要の執行中は拝観を中止することがあります。

特別拝観料(団体割引あり)／大人1,600円 中高生1,200円 小学生800円

○ミニ木札付き・特製エコバッグ進呈

國軸山 金峯山寺 Kinpusenji-temple

お問合せ／〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 國軸山 金峯山寺
0746-32-8371 www.kinpusen.or.jp [金峯山寺](#) [検索](#)

※新型コロナウイルス感染拡大状況により行事を一部変更する場合があります。

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

南座 歌舞伎鑑賞教室

令和4年5月12日(木)初日、18日(水)千鶴楽

文化庁
京都へ

製作
松竹

5月	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水
11:00	●	●		●	●	●	●
13:00			●				
14:00	●	●			●	●	●
16:00			●	●			

ご観劇料
【全席指定席】3,500円(税込)

松竹株式会社

専務取締役
山根成之

新緑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの感染の局面は刻一刻と変化しておりますが、南座では専門家の指導の下、お客様はもとより、出演者関係者の健康と安全、安心を第一に徹底した感染予防対策に取り組んでおります。皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
さて当月は、「歌舞伎鑑賞教室」をご高覧いただきます。歌舞伎の魅力をより多くのお客様に知っていただくとうと平成五年より始まりました本公演は、「二十三年続き」「平成」の南座の人気公演でした。この度、多くのご要望の声にお応えし、新たな出演者と解説者を迎えて七年ぶりに「令和」に復活させていただきますこととなりました。

幕開けは「歌舞伎のいろは」で、歌舞伎の基礎知識を大蔵流狂言師茂山逸平さんらしい優しく分かりやすい解説でお楽しみいただきます。続いて、歌舞伎の三大名作「義経千本桜」より舞踊「吉野山」を上演いたします。静御前に片岡千壽さん、佐藤忠信さんは源九郎狐に上村吉太朗さんという上方歌舞伎の将来を担うお二人による、満開の桜と華やかな舞踊が織りなす幻想的な世界をお楽しみください。

このような時節柄ではございますが、本公演が歌舞伎に親しんでいただくきっかけとなれば幸甚でございます。

最後に、皆様のご健康と安全を祈念しますと共に、医療従事者をはじめ、感染拡大防止のために日々ご尽力されている方に敬意と謝意を表し、私のご挨拶いたします。
本日はご来場賜りまして、誠にありがとうございます。

京野菜 懐石 清水

日本橋
京・東山区清水二丁目三三三
(七味家さんから東へ三軒目)
電話 075-561-0077

京料理 祇園

花郷
京・東山区祇園花見小路四条下ル
三筋目西角 歌舞練場前
電話 075-561-3311

元祖いもぼう

平野家本店
京・円山公園内 知恩院南門前
電話 075-561-1603

京料理 先斗町

春神
京・中京区先斗町四条上 10m 西側
電話 075-122-10011

天麩羅 先斗町

きたむら
先斗町「春神」北隣の路地奥
電話 075-122-10011

うどんそば 清水

権太夫
京・東山区東大路通五条東北角
電話 075-525-2005

<http://harukami.jp>

[www.imobou.net](http://imobou.net)

[www.gion-hanasato.jp](http://gion-hanasato.jp)

[www.nichigetsuan.com](http://nichigetsuan.com)

歌舞伎のいろは

解説 茂山逸平

片岡千太郎
片岡佑次郎
片岡當史
鈴木実

義経千本桜

二、舞踊 吉野山 竹本連中

佐藤忠信
美源九郎狐
静御前

上村吉太郎
岡千壽

後見 片岡千太郎
片岡佑次郎
片岡當史

浄瑠璃

竹本泉太夫
竹本真太夫

鳴物 藤舎呂秀

三味線 野澤松也
鶴澤也

藤舎勤秀
中村寿鶴
中村慶
藤舎華生
藤舎伝生

『吉野山』見どころ

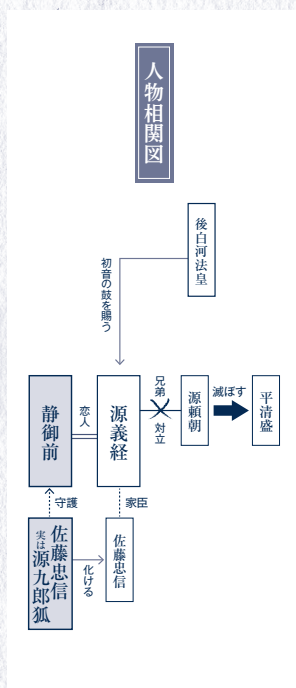
本名題は『道行初音旅』。「道行」とは、主に恋人同士が連れ立って旅をする様子を描いたものが多いですが、本作は静御前と佐藤忠信という、主従関係のふたりの旅であるのが特色です。

舞台は春爛漫の吉野山。恋と忠義はいずれが重い」ではじまると、静御前が登場します。見渡せば四方の梢もほころびて」から、満開の桜の中、静御前は、吉野山に匿われる恋人の義経のもとを尋ねるため、道を急ぎます。忠信の姿が見えないことに気が付いた静御前は、義経から預かった初音の鼓を打ちます。するとその音に導かれるように忠信が現れます。実はこの忠信は、人間ではなく初音の鼓の皮に用いられている夫婦狐の子で、親を慕うあまりに忠信に姿を変え、鼓に付き添ってきたのです。

「雁と燕はどちらが可愛」からは静御前と忠信が連れ舞う華やかな場面となります。静御前と忠信はそれぞれ義経から賜った初音の鼓と着長（纏）を取り出し、義経に思いを馳せます。

そして、「源氏の強者、「あらものゝしや」と夕日影」から、忠信が源平の合戦の有様を勇壮に見せます。そこに静御前も加わって、忠信の兄の佐藤継信が、義経の盾となって能登守平教経に討たれた屋島の合戦を物語ります。やがて静御前と忠信は、共に義経が待つ吉野山の山中へと旅を続けます。

今回は本行（文楽）に近い竹本みの演奏で、華やかな舞踊の名作をご覧いただきます。



南座一口メモ

【櫓と梵天（やぐら・とぼんてん）】

南座正面の屋根にある、六尺（約180cm）四方の白い幕で覆われた部分を櫓と言います。櫓は江戸時代、幕府から興行を許された劇場のみが掲げることのできたもので、櫓の左右に立つ白い御幣は梵天と言います。



【唐破風（からはふ）】

江戸時代の劇場では、能舞台の形を真似て、客席には屋根がなく、舞台上のみ屋根がありました。その伝統を形として残しているのが「唐破風」です。「唐破風」は舞台上の屋根の名残りなのです。現代において、この「唐破風」が残っているのは南座のみ。劇場に入ったら、唐破風を探してみよう！



茂山逸平



京都府出身。昭和五十四年生まれ。大蔵流茂山千五郎家に生を受け、祖父に四世茂山千作、父に二世茂山七三三を持つ。五十八年『業平餅』の童にて初舞台を踏む。兄・宗彦や従兄弟らと「Cutting Edge KYOGEN」として活動。新作狂言を多数手掛ける。また舞踊家尾上菊之丞とともに「逸青会」を主催するなど、狂言師の次代を担う一人である。また、俳優としてはNHK連続テレビ小説「カーネーション」「ちそうさん」などにも出演している。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞を受賞。

上村吉太郎



大阪府出身。平成十三年生まれ。十九年五月に第三回「みよし会」『傾城阿波の鳴門』とどろ大師の巡礼お鶴で上村吉太郎を名乗り初舞台を踏む。二十一年十二月南座「時平の七笑」稚児松乃丸で片岡我當の部屋となる。関西を地盤に芸の研鑽を積み、近年では令和二年十二月南座「傾城反魂香」土佐修理之助、三年二月歌舞伎座「於染久松色説版」丁稚久太などを動めた。南座の「歌舞伎鑑賞教室」には上村吉弥とともに過去五回連続で出演している。十三夜会賞奨励賞、国立劇場奨励賞を受賞。

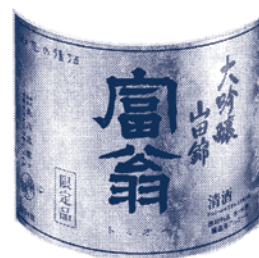


片岡千壽



兵庫県出身。昭和五十六年生まれ。平成十一年三月上方歌舞伎塾第一期修了。同月大阪松竹座「仮名手本忠臣蔵」十一段目の村松三太夫ほかで初舞台。十二月二世片岡秀太郎に入門し、二十四年十二月南座「廓文章」吉田屋の仲居およしで初代片岡千壽を名乗り名題昇進。以降、『輝虎配膳』唐衣、『廓文章』女房おきさなど女方の大役を勤める。千壽ら上方歌舞伎塾の卒業生が中心となった「あべの歌舞伎晴の会」でも精力的に活動中。日本俳優協会賞奨励賞、咲くやこの花賞、大阪文化祭賞奨励賞を受賞している。

振付	藤間 豊宏
照明	笠井 信明
効果	畑中 富雄
狂言	吉田 正清
制作	渡部 太郎
	阿部 尚幸
	成毛 剛太郎



伏見の清酒
富翁
トミオー

醸造元 京都・伏見 (株)北川本家

創業三百余年の歴史と伝統
伝統の技術で
よりよい製品をお届けします

●本社 京都市伏見区村上町370-6
TEL.075(611)1271 FAX.075(611)1273
●東京出張所 東京都中央区新川1-16-9
TEL.03(3552)0727 FAX.03(3551)1774

御菓子司
鍵善良房

代表銘菓
菊壽糖

登録商標
くす切り

本店：四条通祇園町北側 ☎075-561-1818 定休日／月曜 高台寺店：下河原通高台寺表門前北 ☎075-525-0011 定休日／水曜
ZEN CAFE：祇園町南側四条通錦手下の一筋目東入 ☎075-533-8686 定休日／月曜
ZENBI-鍵善良房-：ZEN CAFE向いにOPEN ☎075-561-2875 定休日／月曜